

令和 3 年浦安市教育委員会第 2 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和3年浦安市教育委員会第2回定例会（書面審議）

I. 日 時 令和3年2月4日（木）

I. 出席者	教 育 長	鈴木 忠 吉
	教育長職務代理者	宮 道 力
	委 員	宮澤 ミシェル
	委 員	館 里 枝
	委 員	吉 野 則 子

I. 案 件

第1. 会議録の承認

1. 令和2年浦安市教育委員会第12回定例会会議録の承認について

第2. 審議事項

議案第1号 浦安市立小中学校教育課程カリキュラム改革について

議案第2号 浦安市教育委員会の権限事務を教育長に委任する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について

議案第3号 浦安市郷土博物館協議会運営規則の制定について

第3. 報告事項

1. 行事・会議報告

(1) 令和2年度第3回図書館協議会開催報告

2. その他・報告事項

(1) 教育委員会共催・後援行事一覧

(2) 浦安市奨学支援金支給条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

令和3年浦安市教育委員会第2回定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、書面審議により開催した。

教育長および教育委員からの回答結果ならびに質疑、意見、その回答については、以下のとおりである。

第1. 会議録の承認

1. 令和2年浦安市教育委員会第12回定例会会議録の承認については、過半数から「異議なし」の回答をいただいたことから、承認とする。

第2. 審議事項

議案第1号 浦安市立小中学校教育課程カリキュラム改革については、過半数から「異議なし」の回答をいただいたことから、承認とする。

なお、本議案に対する意見や質疑、その回答については、以下のとおりである。

委員 学校長をはじめとする学校現場の意見を最大限尊重しながらという前提ではあるが、ねらいを実現するためには、より良い手法であると考え。茨城県守谷市の事例なども参考にしながら、児童・生徒・教職員がともによくなる方法を今後検討できればと思う。

委員 一日の授業数を減らすことには同意するが、同一週の水曜日を半日授業にしたり、また、土曜日に授業を行うなど、カリキュラムにメリハリをつけてもよいと思う。

委員 教員にとっても、児童生徒にとっても良い改革だと思う。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、このカリキュラムが早くしっかりと機能することを願っている。

丸山指導課長 令和3年度は試行の年として、まずは6時間目の授業を減らすことを実施し、学校の教職員や児童、保護者等の意見を把握しながら、そ

の成果と課題等を踏まえ、更なる工夫改善を検討していきたいと考える。

議案第2号 浦安市教育委員会の権限事務を教育長に委任する事務委任規則の一部を改正する規則の制定については、全員から「異議なし」の回答をいただいたことから、承認とする。

議案第3号 浦安市郷土博物館協議会運営規則の制定については、全員から「異議なし」の回答をいただいたことから、承認とする。

なお、本議案に対する意見や質疑、その回答については、以下のとおりである。

委員 これまで、郷土博物館協議会を設置していなかった理由はあるか。反対に言えば、今回、新たに設置する目的はどのようなことか。

委員 郷土博物館協議会は今までなかったのか。今までは、どのようなプロセスで運営内容が決まっていたのか。また、今後の郷土博物館協議会の運営委員には市民も加わるということか。

金子郷土博物館長 郷土博物館は、浦安の漁師町時代の歴史・文化が体験できる博物館として計画されたことから、開館準備段階から、文化財審議会の中で文化財住宅の博物館屋外展示場への移築や無形文化財を活用した事業展開だけでなく、展示物や内容の検証などの意見を聞いてきたため、博物館協議会を設置していなかった。

今回の郷土博物館協議会の設置については、展示のリニューアル計画により、埋め立て以降の浦安市の発展してきた姿を含む、歴史や文化が加わることで、新たな市民ニーズに応えながら博物館運営の充実を図って行くことを目的として設置することとした。

今後は、学識経験者や郷土浦安に関わる学校教育・社会教育・家庭教育関係者、郷土博物館の利用者から任命することとなっているため、できる限り市民の選出をしていきたいと考えている。

第3. 報告事項に対する意見や質疑、その回答については、以下のとおりである。

1. 行事・会議報告

(1) 令和2年度第3回図書館協議会開催報告

委員 コロナ禍では、通常の図書館運営と異なることがたくさん出てきていると思う。大変だと思うが、引き続き、市民ファーストの視点を常に持って対応いただきたいと思う。

曾木中央図書館長 新型コロナウイルス感染拡大防止のために制限はあるが、事業の内容や開催方法の検証を行い、継続した事業運営を行っていく。

委員 子どもたちの読書活動を推進するためには、読書通帳もよいが、もう少し範囲を広げてみると、やはり学校の授業で本を読み、自分の感想や考えを伝えたり、自分が読んだ本をクラスメイトに紹介するような時間や機会をつくることからスタートであると思う。

曾木中央図書館長 図書館では、司書が学校に出向き、本の紹介や読み聞かせ等を行い、本に親しむきっかけになるような事業を行っている。今後も継続して行い、児童・生徒の読書活動を支援していきたいと考えている。

委員 読書通帳は、今後もぜひ続けていってほしい。

曾木中央図書館長 令和3年度以降も事業を継続する予定である。